



代っ子通信

令和7年10月23日
<第34号>
校長 平塚智康

読書の秋 ~加賀市読書感想文コンクールより~

加賀市読書感想文コンクールで、6年生の〇〇さんが優良賞となりました。とてもすてきな感想文です。今日は、その〇〇さんの感想文を紹介したいと思います。

「とびたて！みんなのドラゴン～難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険～」を読んで

6年 〇〇 〇〇

僕は、題名の「みんなのドラゴン」という部分を見て、「ドラゴンって何だろう。」と思い、この本を選びました。読んでみると、とても温かくて心が動く話でした。この本は実際にあった出来事をもとに書かれたノンフィクションで、子どもたちと先生が一生けん命練習していく様子がいきいきと描かれていました。読んでいるとかけ声や笑顔、緊張した顔まで頭の中に浮かんてきて、まるでその場にいるようでした。

場所は福岡県北九州市の日明小学校。合唱部の顧問は竹永先生といい、ALSという病気にかかりています。僕は、その合唱部に入ったマナミという子にとても共感しました。マナミは内気で人前で話すのも得意ではありませんでした。僕は、人前に出ることが得意ではないところがマナミと似ていると感じました。人に見られていると、とても緊張してしまいます。でも、マナミは得意ではないけど、自分もチャレンジしてみようと思い、合唱部に入ったところがすごいと思いました。

もう一つ心に残った場面は、竹永先生の言葉です。全国大会に向けて「上手に歌うことや金賞を取ることじゃなくて、日本で一番明るく、一番元気に心を込めて歌おう。」と言ったのです。結果ではなく、心を込める大切さを教えてくれました。この本で「ドラゴン」はとても大事な意味を持っています。合唱曲「僕のドラゴン」の歌詞には、悲しみやさびしさ、苦しさをがまんしたとき、誰かに優しくできたときやがんばったときに、自分の心の中でドラゴンが大きく育つと書かれています。僕たちも心の中に「ドラゴン」を持っていて、成長させることができるということをこの本は教えてくれました。

僕は、マラソン大会や運動会に出ることがずっと嫌でした。四年生のとき、母に「マラソン大会に出るのが嫌だ。」と言ったら、「順位ではなく、出ることに意味がある。」と言われました。このまま出なかったら、自分の心が成長しないと思い、行かないとだめな気がしました。嫌なことをがまんして、マラソン大会に出たら、思ったより速く走ることができ、自信につながりました。この時にきっと僕のドラゴンも育ったと思います。五年生では熱が出て出られなかったけど、今年も出ようと思っています。また、先生やマナミたちが、自分と仲間のドラゴンを大切にしながら一つの歌をつくりしていくのは、大きな心の力を育てる時間だなと感じました。その姿を僕もまねしたいと思いました。

この本を読み終えて、僕は人の気持ちに耳を傾けることや自分のドラゴンを大切にすること、そして仲間と心を一つにすることを学びました。僕もこれからは友達の話をもっとよく聞いて、その心に小さなドラゴンを育てられるようになりたいです。この本は、僕にとって大切な宝物のような一冊になりました。自分の中のドラゴンを信じて、誰かのドラゴンをそっと支えられる人になりたいです。



<2年生 生活科「さつまいもの収穫」>



<5年生 家庭科「味噌汁づくり」>

平 ○○くんは、この物語に登場するマナミさんに共感しました。そして、マナミさんと自分を重ねながら、そして自分のこれまでの体験を振り返りながら、人の心の中の「ドラゴン」について深く考えています。そして、竹永先生の、「結果ではなく心を込めることの大切さ」を説く言葉に心を動かされ、「悲しみやさびしさ、苦しさをがまんしたとき、誰かに優しくできたときやがんばったときに、自分の心の中でドラゴンが大きく育つ」という歌詞から、自分の心の中のドラゴンを成長させるために大切なことは何かということを学んでいます。そして、「この本は、僕にとって大切な宝物のような一冊になりました。自分の中のドラゴンを信じて、誰かのドラゴンをそっと支えられる人になりたいです。」と結んでいます。

めっちゃステキですね。一冊の本との出会いが、人の心をこのように動かすなんて・・・。一冊の本から、「こんな風に生きていきたい、こんな人になりたい」と思えるなんて・・・。○○くんの豊かな感性に感動です！

言葉や文章に表すことがうまくできるかどうかは人それぞれですが、このような感性は、子どもたち誰もが持っているものだと私は思っています。子どもたちが、その豊かな感性を発揮できるかどうかは、だれと出会うか、どんな風に学ぶか、といった環境的要因が大きく左右すると思います。子どもたちの持っている豊かな感性に気づき、それを育み、伸ばしてあげられる教師であり、親でありたいと思います。

山代温泉やたがらす駅伝大会～子どもたちも先生も奮闘！～

10月19日(日)、第14回山代温泉やたがらす駅伝大会がありました。小学生低学年の部、高学年の部、小学生女子の部に、本校の子どもたちがたくさん参加し、一生懸命走りました。小学校低学年の部では、3年生の「山代最強」チーム(○○君、○○君、○○君、○○君、○○君)が見事1位となりました。

一般の部には、本校職員チーム(○○、○、○○、○○、○○、教頭、校長)も出場しました。入賞はできませんでしたが、完走はできました。(笑)

今週から、来月のマラソン大会に向けて、長休みや体育の時間の練習が始まりました。長距離走はしんどいですが、へこたれずに頑張ってほしいです。



※ちなみに私は、日頃の運動不足から、途中で足がつってしまいましたが、何とかたすきをつなぐために根性出して最後まで走りました。今週は筋肉痛で、やっとこさ歩いています。